

令和4年度 PDCA サイクル 自己評価

1. Plan (計画)

本年度の重点目標は自尊感情を高めることに加えて思考力を高める点である。最終的な目標に向かって具体的カリキュラムを工夫してきた。昨年度と同様の取り組みに加え、プログラミング教育の専門家の指導を受けて、園児も先生も試行錯誤することを認め合い、思考力の向上に努める。

2. Do (実行)

1の計画に沿って、カリキュラムを実行した。具体的には、子どもたちも、教員自身も自尊心をしっかりと持てることを目的としたカリキュラムや行事の工夫を行った。

具体物、具体的事象を使ったプロジェクト教育としてのピラミード教育を行い、モンテッソーリの研修を受けて指導者資格を得た担当者による充実した指導のもと、物事の仕組みについて粘り強く体験することで知識としても身につけられるように行った。

3. Check (評価)

ピラミード教育は子どもの興味や社会情勢を考慮し、年々テーマを精査している。具体物からの抽象思考や幼児自身の積極的な行動が起きて、さらに、友達の称賛の言葉で自己肯定感が高まり、新しいことにチャレンジする力が高まった。担任も、より一層園児の成長を実感し、園児はほめられることで、自尊感情が高まることが実感できた。また、公開保育により、保護者の方のピラミード教育への理解が深まった。

4. Act (改善)

反省点も多々あるが、保護者をはじめ、担任や講師の先生方の協力で全体評価はAとした。

事業の概要 <星の光幼稚園>

教育方針

物事を自ら考え創意工夫する力、心身のバランス、やさしい心を柱とする。

教育内容

- 遊びの中で楽しく学んでいく保育です。
- 広い園庭で元気に遊び、お部屋の中では絵本を読んだり、お絵描きをしたり、椅子にもしっかり座って保育します。
- ひとり一人の個性と能力を引き出すために満 3 歳児クラスから全員が「リポート」式の英才教育を行い実績を上げています。
- 年中、年長さんには、特設保育という特別講師を迎えての正課保育時間内に一つのコースを選択する保育を設け、子供たちの意欲の向上に成果を上げています。（そろばん、剣道、絵画、鼓笛隊、日本太鼓、パソコン、受験）*無料
- 世界で一番幸せな子どもが多いというデータがあるオランダ旧王立研究所発信のピラミードを当園独自の知育教育として、ほめて育てるという園の保育方針にのっとってより発展させることができています。
- アクティブラーニングの動画教材キャンディーキッズによって、考察力、協力すること、発表する勇気、他の意見に耳を傾けるなど新たな展開をみせています。
- 今年度から、大阪大谷大学の竹歳先生の指導によるプログラミング教育を開始しました。
- 新型コロナウイルス感染症予防のための対策をとり、府の指導に沿って、園児、保護者、教職員の安全安心を第一に、行事などに一部変更を加えて対応しました。

保育時間

月～金曜日 午前 10 時 00 分～午後 2 時 20 分

納付金 満 3 歳児は 3 歳児に準じる

保育料 (3 歳児)	無償化後 10,000 円/月
保育料 (4・5 歳児)	無償化後 6,000 円/月
教材費(知能教育教材ほか)	(上記 6,000 円、10,000 円に含まれています)
バス後援会費(バス通園者 1 台確保年一回)	6000 円

冷暖房費	(上記 6,000 円、10,000 円に含まれています)
------	-------------------------------

入園時の費用

入園料(3歳児)	65,000円
入園料(4・5歳児)	55,000円
入園検定料	2,000円

早期保育

午前7時から

預かり保育

月～金曜日 午後2時30分～午後4時30分

夏期休業中の実施予定 午前10時00分～午後3時00分

行事

参観、社会見学、遠足、盆踊り大会、敬老会、運動会、秋の遠足(おいも掘・みかん狩り)、おゆうぎ会、クリスマス会、かるた大会、展覧会、お店屋さんごっこ他

施設設備関係(園地面積 6701㎡、運動場 3481.2㎡)

砂場遊びセット、各種大型楽器、鍵盤ハーモニカの代わりに電子鍵盤を購入し、その他、備品類の安全点検・補修を実施しました。(令和5年度から鍵盤ハーモニカも特設鼓笛隊から再開)

事業報告

令和4年度の事業は、保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、安全に堅実に運営することができました。新型コロナウイルス感染症予防対策に関して、保護者並びに園児、教職員、また、各方面の多大なるご協力のもと、毎日を無事に過ごすことができ感謝しています。

自己評価結果公表シート

星の光幼稚園

1、園の教育目標

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

令和4年度も、長引いている新型コロナという未曾有のパンデミックの中で、子どもたち、保護者、教職員が協力して新たな保育スタイルを構築し、できないことのみ目を向けるのではなく、実施可能なことを模索しました。

その結果、社会的なマナーを守りながら、お互いを思いやる心が育ち、工夫することで試行錯誤しながら成長し、自尊感情を高めることができるように保育内容や普段のクラス運営も整えていくことができた。困難な状況の中でも、たくましく育ってくれた子どもたち、それを支えて下さった保護者、教職員の全員に感謝致します。

さらに、安全を確保しながら行事の再開が多数できる体制を整える事を最大の目標としてきました。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
健康管理	本年度も新型コロナ感染拡大を防ぐことに努力をすると同時に、自分でも咳エチケットを守るなど衛生指導をおこなった。また、引き続き、免疫力を高めるために、食育で、赤黄緑のレンジャーというキャラクターを使って献立表を区分し、カロリーにも興味を持ち、コロナに負けない体づくりに興味を持てるように指導した。 自己評価 A 学校関係者評価 A
安全対策	全国の学校園での不審者侵入やバス内置き去り事故や熱中症事故が起きたことに鑑み、その場で教職員や園児が自ら考えて行動できるよう指導とシュミレーション訓練を行った。 自己評価 A 学校関係者評価 A
保護者の満足度の把握	直接参加いただけない行事は動画配信で対応し概ね好評であった。 自己評価 A 学校関係者評価 A
教育内容・方法	五領域という学びの柱にギルフォード、モンテッソーリ、ピラミードの実体験を加えアクティブラーニングの学びで小学校への接続をスムーズにし土台としての自尊感情を高めるとともにプログラミングの思考の基礎を培う事に挑戦した。 自己評価 A 学校関係者評価 A
体験の重視	広い園庭や園の周りの豊かな自然環境を生かし、身近に体験できることを工夫するほか、コロナ対応が緩和されていく中で受け入れ態勢の整う施設に園外保育として積極的に出かけていくことで子どもたちの体験が増える工夫をした。

	自己評価 A 学校関係者評価 A
--	------------------

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	<p>ギルフォード SI 教育協会代表理事 白濱先生</p> <p>「知能教育の土台である、園児の人格を尊重すること、ほめて育てるという方針がコロナ禍でも継続できていることを高く評価します。今年度も研修はリモートだったが良く工夫して知能教育の成果が得られていたと思います。ピラミードやプログラミングなど他の教育についても、公開保育や研究保育等でコロナ禍の中で、着実に実践されていました。」</p>

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
コロナ対応の終わりに向けて	<p>今年度も、各クラス担任が様々な領域で研究を重ね、研鑽を積んでまいりました。</p> <p>研究内容は、文科省の 5 領域に加えて、ピラミードを中心に、試行錯誤を楽しみながら学びへとつなげる遊びにコロナや他の感染症についても広がりやすい状況にあることに注意しながら少しづつ日常を取り戻しながら実践していきます。</p>
専門的指導	<p>専門家の方々のご指導はリモートが中心となったが、今年も仰ぐことができました。</p> <p>絵画での、二科展・井上 裕義先生、星の子アートクラブの今川先生や東京から鈴石弘之先生にお越しいただき、直接のご指導を頂けました。</p> <p>英語、体操やダンスも専門の先生が指導方法を工夫して、コロナ禍で家にこもりがちで運動不足、たくさんの人々との触れ合いの不足などを補い子どもたちを積極的にさせる工夫でご指導いただきました。</p>
アクティブラーニング・プログラミング教育	<p>大学受験体制の中心となってきたアクティブラーニングの実践はコーチングの指導法の学びにより充実してきましたが、今後はさらにプログラミング教育などの研究実践を深める必要があると考えています。具体的には、iPadの更なる活用です。専門家のアドバイスをいただきながら、学術科目統合カリキュラム STEAM (Science ・ Technology ・ Engineering ・ Art ・ Mathematics) 教育の実践を進めていきたいと思っています。</p>

6、学校関係者評価委員会の意見

・ほめて育てるという教育方針を守り、SIあそびの他にも、プログラミングの基礎を学び、また、実践テーマ別の具体物を使ったピラミード教育の公開保育など、子どもたちの才能と人格を育てることが園の保育方針としてゆるぎないことに感銘を受けた。

・どろんこ遊びから英才教育まで幅広く学べ、自ら考えて取り組む力を育ててくださっている。教育面、精神面で先生だけでなく、職員やバスの先生も常に寄り添い、背中を押してくださった。愛をもって接していただけたおかげで自信を身につけ何事にも前向きに取り組む土台を作っていただいた。（詳細は保護者の感謝のメッセージ）

7 学校関係者評価として

卒園児保護者S様からのメッセージ

長女、次女、長男と3人合わせて7年3か月お世話になりました。

主人も卒園児です。

星の光幼稚園では、どろんこ遊びから英才教育まで実施され、特に特設保育でのそろばん、進学、パソコン、鼓笛隊、日本太鼓、剣道など様々なことから、選べるコースがありました。

娘2人は、在園中、書道や絵画のコンクールで入賞することができました。

小学校5年6年になった今でも絵が上手で、字も綺麗なのは基礎をしっかり教われて、のびのび描かせていただけたからだと思います。とても感謝しています。

園外保育でも、地域の様々な施設や、海遊館やキッズニア、お泊り保育などいろいろな場所へ連れて行ってくれました。季節ごとのイベントもお餅つき、かるた大会、節分、盆踊り大会、お芋ほりやクリスマス会、毎月のお誕生日会までたくさんの行事で園児たちを楽しませてくれます。

お遊戯会、運動会でも一生懸命に取り組んだ子どもたちの姿に成長が感じられ、とても感動しました。展示会はお店を始め、子どもたちひとり一人のクオリティーの高さに毎回驚かされ毎年楽しみでした。

放課後の課外保育SR（スタディールーム）でも、体操やサッカー、英語など専門の先生方に教わられて、帰りもバスで送ってくださるのでとても助かりました。

娘2人は、体操を楽しく通わせていただき、いろいろと身に付きました。園で行われていたなわとび大会のおかげで、得意となり、小学校でのなわとび検定で、見事1級に合格いたしました。

長男は、無償化になったこともあり、満3歳児クラスから入園させていただきましたが、残念なことにコロナにより緊急事態宣言が出たり、小さいながらマスクとシールドを付けての登園になりました。

誰もが不安な中、園長をはじめ、先生方はたくさんのご苦労と工夫をしながら園児たちと向き合ってくださいました。

参観や行事等も縮小され、寂しさもありましたが、その中でも息子は年中まで楽しいと言って毎日通いました。

それも、先生方が変わらず、笑顔で楽しく園生活を送ってくださったおかげだと思います。

年長になり、少しずつ、コロナ対応も緩和され、最後の園生活はほとんどの行事を見届けることができ、息子ののびのびとした貴重な姿を見せていただけたことは本当に嬉しかったです。

息子だけは、給食が苦手でもとても悩みましたが、先生方とも相談させていただき、無理なく息子のペースで食べさせていただけ、少しずつと見守ってくださり、不安がっていた息子も嫌がらずに過ごせたのでとても救われました。

息子の幼稚園生活の写真はほぼすべてマスク姿で写っていました。それでもマスクの中で笑顔なのは、楽しかった証だと思います。

バスの運転手さんも添乗員さん方もとても良い方々ばかりで、乗っていないバスでも手を振ってくださったり、最初から最後までとても楽しい時間だったと思います。

たくさんの先生方がいつ行っても、兄弟姉妹の名前を憶えてくれますし、子どもたちの成長も一緒に喜んでくださり、今でも子どもたちは園が大好きです。

3人とも、個性が違う中、しっかりと見て、自主性を伸ばしていただけたことに感謝しております。

子どもたちを大切に預かって育てていただき、たくさん学ばせていただけたこと、本当にありがとうございました。

お母様へ(園より)

素晴らしいメッセージをありがとうございます。

お子様3人が、これからもますます楽しい学校生活を送っていただけるよう願っています。

また、園に遊びにいらしてください！！

8 財務状況(別紙監査報告をご覧ください) 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

255050

星の光幼稚園

学校関係者評価の名簿

その1 白濱 洋征 (知能教育協会 教育アドバイザー)

その2 S (保護者)